

**Microsoft System Center Operations Manager
向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0
インストールガイド**



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2014 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 - 12

Rev. A00

目次


1 概要	5
本書で使用される用語.....	5
作業を開始する前に.....	6
Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能.....	6
監視機能の対応 OpsMgr バージョン	7
2 Dell Server Management Pack Suite のインストール、アンインストール、およびアップグレード	8
インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite のインストール.....	8
以前のバージョンからの Dell Server Management Pack Suite のアップグレード.....	9
インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.2.0 からのアップグレード.....	9
バージョン 5.1 以前のバージョンからのアップグレード.....	9
以前の Operations Manager からのアップグレード.....	9
OpsMgr 2012 SP1 から OpsMgr 2012 R2 へのアップグレード.....	9
OpsMgr 2012 から OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレード.....	10
OpsMgr 2007 R2 から OpsMgr 2012 へのアップグレード.....	10
インストーラの変更オプションの使用.....	10
インストーラの修復オプションの使用.....	10
Dell Server Management Pack Suite のアンインストール.....	11
インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite の削除.....	11
Windows のコントロールパネルを使用した Dell Server Management Pack Suite のアンインストール.....	11
Connections License Manager ドメイングループの作成.....	12
ドメインユーザー資格情報.....	12
3 監視機能のインストール、アップグレード、削除	13
OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート.....	13
Dell Feature Management Dashboard.....	13
Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能のインポート.....	14
Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能のアップグレード.....	16
Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の削除.....	17
4 エージェントベースの監視機能	18
管理パック.....	18
管理サーバー (MS) の要件.....	19
対応オペレーティングシステム.....	19
ソフトウェア要件.....	19

管理サーバーアクションアカウント.....	19
管理下システム要件.....	20
機能管理タスク.....	20
5 エージェントフリー監視機能.....	22
管理パック.....	22
管理サーバー (MS) の要件.....	23
管理下システムの要件.....	23
Dell Connections License Manager URL の設定.....	23
機能管理タスク.....	24
6 DRAC 監視機能.....	27
管理パック.....	27
管理サーバー (MS) の要件.....	27
DRAC 監視要件.....	28
機能管理タスク.....	28
7 シャーシ監視機能.....	29
管理パック.....	29
管理サーバー (MS) の要件.....	30
ソフトウェア要件.....	30
シャーシ監視要件.....	30
機能管理タスク.....	31
8 シャーシモジュラーサーバー関連機能.....	32
管理パック.....	32
管理サーバー (MS) の要件.....	32
シャーシモジュラーサーバー関連監視要件.....	32
機能管理タスク.....	33
9 トラブルシューティング.....	34
Feature Management Dashboard が自動入力されない.....	34
Feature Management Dashboard タスクが失敗する.....	34
機能管理アラート.....	35
Feature Management ホストサーバーの正常性サービスを取得できない.....	36
Dell Device Helper Utility 用ユーザー資格情報の手動設定.....	37
Dell Connections License 統計が Feature Management Dashboard でアップデートされない.....	37
10 付録.....	38
WS-Management と SMASH デバイステンプレートのインストール.....	38
11 デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	39

概要

このガイドには、Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 をインストールして設定し、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 と共に使用するための情報が記載されています。

System Center 2012 R2 Operations Manager、System Center 2012 SP1 Operations Manager、System Center 2012 Operations Manager、または System Center Operations Manager 2007 R2 2 環境との Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.2.0 の統合により、Dell デバイスを管理および監視し、その可用性を確保することが可能になります。




 **注意:** データの破損および / または損失を避けるため、本書の手順は **Microsoft Windows** オペレーティングシステムと **System Center 2012 R2 Operations Manager**、**System Center 2012 SP1 Operations Manager**、**System Center 2012 Operations Manager**、および **System Center Operations Manager 2007 R2** の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。




Management Pack Suite インストーラ、インストールガイド、およびリリースノートの各ファイルは、自己解凍式実行ファイル **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v6.0_A00.exe** に収録されています。実行ファイルは、**dell.com/support** からダウンロードできます。

管理パックのリリースノートをお読みください。これには、既知の問題に関する情報のほか、ソフトウェアおよび管理サーバー要件に関する最新情報が掲載されています。リリースノートは、**dell.com/support/manuals** の Systems Management マニュアルページにも掲載されています。

本書で使用される用語

本書では、次の用語が全体を通じて使用されています。実際用語と適宜置き換えるようにしてください。

-  **メモ:** 本書中の OpsMgr という用語は、特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 を指して使用されます。
-  **メモ:** 本書中の OpsMgr 2012 という用語は、特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、および Microsoft System Center 2012 Operations Manager を指して使用されます。
-  **メモ:** 本書中の Dell Remote Access Controller (DRAC) デバイスという用語は、特に指定のない限り、iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 を指して使用されます。
-  **メモ:** 本書中のシャーシデバイスという用語は、特に指定のない限り、Chassis Management Controller (CMC) を指して使用されます。

-  **メモ:** 本書中のサーバーという用語は、特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションを指して使用されます。
-  **メモ:** 本書中のエージェントベース監視という用語は、特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベース監視を指して使用されます。
-  **メモ:** 本書中のエージェントフリー監視という用語は、特に指定のない限り、サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントフリー監視を指して使用されます。

作業を開始する前に

管理サーバーに Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 をインストールするには、以下がインストールされていることを確認します。

- OpsMgr
 - 2012 R2
 - 2012 SP1 – OpsMgr 2012 SP1 を実行するシステムで、マイクロソフトサポート技術情報記事 KB2826664 で提供されている OpsMgr 2012 SP1 用アップデートロールアップ 2 をダウンロードして適用します。詳細については、support.microsoft.com/kb/2802159 を参照してください。
 - 2012
 - 2007 R2
- Microsoft .NET version 3.5 以降。

Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能

次の表に、本バージョンの Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能を示します。

表 1. Dell Server Management Pack Suite でサポートされている機能

機能	説明
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視	Dell PowerEdge、Dell PowerVault ストレージサーバー、および対応 Dell Precision ラックのエージェントベースの監視とインベントリ。
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェント不要の監視	Dell PowerEdge、Dell PowerVault ストレージサーバー、および対応 Dell Precision ラックのエージェント不要の監視とインベントリ。
DRAC 監視	DRAC デバイスの監視とインベントリ。
シャーシ監視	Dell CMC デバイスの監視とインベントリ。
シャーシモジュラーサーバー相関	エージェントベースの監視機能、またはエージェント不要の監視機能のいずれかを使用して検出された、シャーシ内のデルのサーバー間の相関関係。

監視機能の対応 OpsMgr バージョン

表 2. 監視機能の対応 OpsMgr バージョン

監視機能	OpsMgr	
	2012 R2/ 2012 SP1/ 2012	2007 R2
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視	✓	✓
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェント不要の監視	✓	✗
DRAC	✓	✓
シャーシ		
拡張性	✓	✓
詳細	✓	✗
シャーシモジュラーサーバー関連		
シャーシモジュラーサーバー関連	✓	✓
Dell モジュラーサーバーとのシャーシ共有ストレージコンポーネント関連	✓	✗

表 3. OpsMgr バージョンの対応 Dell ハードウェアデバイス

Dell ハードウェアデバイス	OpsMgr 2012 R2/ 2012 SP1/ 2012	OpsMgr 2007 R2
Dell PowerEdge M1000e	✓	✓
Dell PowerEdge VRTX	✓	次の機能のみでサポートされます： <ul style="list-style-type: none"> • シャーシ監視機能 <ul style="list-style-type: none"> - 拡張性 • シャーシモジュラーサーバー関連監視機能
Dell PowerEdge FX2	✓	✗


Dell Server Management Pack Suite のインストール、アンインストール、およびアップグレード


インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite のインストール

1. **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v6.0_Axx.exe** (xx は Dell Server Management Pack のリリース番号です) を **dell.com/support** からダウンロードします。
2. **.exe** ファイルを実行し、自己解凍式 zip ファイルの内容の解凍先となるパスを指定します。
3. 解凍した場所から **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v6.0_x86_x64.exe** ファイルを起動します。Dell Server Management Pack Suite のようこそ画面が表示されます。
4. **次へ** をクリックします。
ライセンス契約が表示されます。
5. インストールを続行するには、ライセンス条項を読んでから承諾して、**次へ** をクリックします。
6. **変更** をクリックしてデフォルトのインストールフォルダを変更し (必要な場合)、**次へ** をクリックします。
ライセンス資格情報の入力 画面が表示されます。
7. (オプション) ライセンス機能を有効化するには、**ライセンス資格情報を設定する** チェックボックスを選択します。
 **メモ:** ライセンスされた監視機能では、Dell Connection License Manager からのライセンスの取得に、ドメインユーザー資格情報が必要となります。このウィンドウでドメインユーザー資格情報を入力してください。監視機能は、**プログラムファイル** フォルダにあるライセンスデータをキャッシュする場合がありますため、そのドメインユーザーに、Dell Server Management Pack Suite がインストールされている管理サーバーでのローカル管理権限が付与されているようにしてください。ユーザー資格情報は、Dell Helper Utility を設定するために使用され、Dell Server Management Pack Suite がそれをどこかにキャッシュしたり保管したりすることはありません。
8. ユーザー資格情報を入力して、**次へ** をクリックします。
9. **インストール** をクリックします。
10. **Install Shield** ウィザードの完了画面で **終了** をクリックします。
管理パックは、**C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0** に解凍されます。


Dell Server Management Pack Suite のインストール後、次のアイテムが自動的にインポートされます。

- エージェントベースの監視機能。
- ライセンスが設定済みであり、前提条件が満たされている場合には、エージェント不要の監視機能。
- Dell Feature Management Pack。 **Feature Management Dashboard** が OpsMgr コンソールの **監視** → **Dell** に表示されます。監視機能のインポートについては、個々の監視についての項を参照してください。

 **メモ:** エージェント不要の監視機能には、デルのエージェント不要サーバーの監視に使用されるすべての管理サーバーでインストーラが実行される必要があります。インストーラは Dell Device Helper Utility (COM+ アプリケーション) を管理サーバーに登録します。デフォルトの場所は **C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Library** です。

 **メモ:** インストーラは管理パックも解凍します。管理パックを解凍するには、Windows オペレーションシステムがインストールされたクライアントシステムでインストーラを実行します。

Dell Server Management Pack Suite のインストール後、インストール情報が含まれるログファイルが生成されます。ログファイルは、**Dell_Server_Management_Pack_Suite_v6.0_x86_x64.exe** の解凍先にあります。

 **メモ:** インストール中、インストーラによって Windows Server Active Directory 内に Dell Connections License Manager ドメイングループが作成されます。ドメイングループがインストール中に自動作成されない場合は、手動で作成してください。詳細に関しては、「[Connections License Manager ドメイングループの作成](#)」を参照してください。


以前のバージョンからの Dell Server Management Pack Suite のアップグレード

インストーラを使用して Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 にアップグレードすることができます。

インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.2.0 からのアップグレード

インストーラは、次のアップグレードを自動で行います。

- Dell Server Management Pack Suite のバージョン 6.0 へのアップグレード
- エージェントベースの監視機能をバージョン 6.0 にアップグレードします。

 **メモ:** アップグレード完了後、インストーラが再起動するためのプロンプトメッセージを表示する場合がありますが、再起動は必要ないため無視してください。

バージョン 5.1 以前のバージョンからのアップグレード

Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 以前のバージョンから、バージョン 6.0 へのアップグレードはサポートされていません。

以前の Operations Manager からのアップグレード

Microsoft のガイドラインに従って、以前のバージョンから OpsMgr をアップグレードすることができます。サポートされるアップグレードのシナリオについては、Microsoft System Center のマニュアルを参照してください。

OpsMgr 2012 SP1 から OpsMgr 2012 R2 へのアップグレード


OpsMgr 2012 R2 へのアップグレードは、既存の Dell Server Management Pack Suite の機能や動作に影響を及ぼすことはありません。OpsMgr 2012 SP1 から OpsMgr 2012 R2 へのアップグレードに関する詳細については、technet.microsoft.com/en-us/library/dn249707.aspx を参照してください。

OpsMgr 2012 から OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレード

OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレードが既存の Dell Server Management Pack Suite 機能や機能性に影響を及ぼすことはありません。OpsMgr 2012 から OpsMgr 2012 SP1 へのアップグレードについての詳細は、technet.microsoft.com/en-us/library/jj899854.aspx を参照してください。


OpsMgr 2007 R2 から OpsMgr 2012 へのアップグレード

OpsMgr 2007 R2 から OpsMgr 2012 へのアップグレード方法の詳細に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh476934.aspx を参照してください。

 **メモ:** 機能管理ワークフローが最適レベルで動作していることを確実にするため、OpsMgr 2012 へのアップグレード後はルート管理サーバーを再起動してください。

インストーラの変更オプションの使用

Dell Server Management Pack Suite インストーラの変更 オプションによって、ライセンス資格情報を変更することができます。

 **メモ:** 32 ビットオペレーティングシステムを実行しているシステムでは、**変更** オプションはサポートされていません。

1. 解凍先のフォルダから **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v6.0_x86_x64.exe** ファイルを実行します。
Dell Server Management Suite Pack の、ようこそ画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
プログラムメンテナンス 画面が表示されます。
3. **変更** を選択して **次へ** をクリックします。
ライセンス資格情報の入力 画面が表示されます。
4. (オプション) ライセンス機能を有効化するには、**ライセンス資格情報の設定** チェックボックスにチェックを入れます。
5. ユーザー資格情報を入力して、**次へ** をクリックします。
プログラム変更の準備完了 画面が表示されます。
6. **インストール** をクリックします。
インストールが正常に完了しました という画面が表示されます。
7. **終了** をクリックします。


インストーラの修復オプションの使用

修復 オプションでは、Dell Server Management Pack Suite のインストール中に発生したインストールエラーを修復することができます。

1. 解凍した場所から **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v6.0_x86_x64.exe** ファイルを起動します。
Dell Server Management Suite Pack の、ようこそ画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
プログラムメンテナンス 画面が表示されます。
3. **修復** を選択し、**次へ** をクリックします。

プログラム修復の準備完了 画面が表示されます。

4. (オプション) ライセンス機能を有効にするには **ライセンス資格情報の設定** を選択します。
5. ユーザー資格情報を入力して、**次へ** をクリックします。
プログラム修復の準備完了 画面が表示されます。
6. **インストール** をクリックします。
進捗状況画面にインストールの進捗状況が表示されます。インストールが完了すると、**インストールが正常に完了しました** 画面が表示されます。
7. **終了** をクリックします。

 **メモ:** 修復 オプションは、コントロールパネルのプログラムの追加と削除からは使用できません。


Dell Server Management Pack Suite のアンインストール

Dell Server Management Pack Suite は、Windows のコントロールパネルから、または Dell Server Management Pack Suite インストーラの **削除** オプションを使用してアンインストールできます。

インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite の削除

インストーラを使用して Dell Server Management Pack Suite を削除するには、次の手順を実行します。

1. 解凍先の場所から **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v6.0_x86_x64.exe** ファイルを起動します。
Dell Server Management Suite Pack の、ようこそ画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
3. **削除** を選択し、**次へ** をクリックします。
プログラムの削除 画面が表示されます。
4. **削除** をクリックします。
Dell Server Management Pack Suite が削除されます。

 **メモ:**

- アンインストール中、バックグラウンドで COM サロゲートプロセスが **DellDeviceHelper.DLL** を実行しており、これは閉じられる必要があることから、The following applications should be closed before continuing the installation: COM Surrogate というメッセージが表示されます。**アプリケーションを自動で閉じて、セットアップ完了後にそれらを再起動する** オプションを選択します。**OK** をクリックしてアンインストールを続行します。
- Dell Server Management Pack Suite をアンインストールしても、OpsMgr にインポートされた Dell Management Pack は削除されません。OpsMgr から Dell Management Pack を削除するには、technet.microsoft.com/en-us/library/cc974489.aspx を参照してください。

Windows のコントロールパネルを使用した Dell Server Management Pack Suite のアンインストール

Windows のコントロールパネルを使用して Dell Server Management Pack Suite をアンインストールするには次の手順を実行します。


1. **スタート** → **コントロールパネル** → **プログラムのアンインストール** とクリックします。
2. **Dell Server Management Pack Suite** を右クリックし、**アンインストール** をクリックします。
3. 画面の指示に従って、アンインストールプロセスを完了します。

Connections License Manager ドメイングループの作成

Dell Server Management Pack Suite または Dell Connections License Manager のインストール中、Windows Server Active Directory 内に次のグループが作成されます。

- **Dell Connections License 管理者**
- **Dell Connections License オペレータ**
- **Dell Connections License ユーザー**


上記のドメイングループがインストール中に自動的に作成されない場合は、グループを手動で作成します。ドメインを作成してドメインにユーザーを追加するには、マイクロソフト (technet.microsoft.com) で Windows のマニュアルを参照してください。

 **メモ:** 必要なドメイングループを作成した後、管理サーバーアクションアカウントを **Dell Connections License Users** グループに追加し、現在のユーザーアカウントを **Dell Connections License Administrators** グループに追加します。ネストされているドメイングループがある場合は、メンバーであるユーザーアカウントを含むネストされたドメイングループを追加する代わりに、アカウントを直接 **Dell Connections License Users** グループに追加します。

ドメインユーザー資格情報

Dell Connections License Manager (DCLM) はライセンス付与の権限決定のためにドメインメンバーシップを使用します。そのため、Dell Device Helper COM+ アプリケーションでは DCLM からライセンスを入手するためにドメインユーザー資格情報が必要です。

資格情報は、COM+ アプリケーションの **Dell Device Helper プロパティ** → **このユーザー**: ウィンドウで直接設定されます。今後の使用のために Dell Server Management Pack Suite または COM+ アプリケーションにパスワードが保存されることはありません。

 **メモ:** **Dell Connections License Users** グループにドメインユーザーを追加します。ネストされたドメイングループがある場合は、メンバーであるドメインユーザーを含むネストされたドメイングループを追加する代わりに、ドメインユーザーアカウントを直接 **Dell Connections License Users** グループに追加します。

監視機能のインストール、アップグレード、削除

本項では、**Dell Feature Monitoring Dashboard** を使用した監視機能のインストール、アップグレード、および削除について説明します。

OpsMgr の **管理パックのインポート** ウィザードまたは **Dell Feature Management Dashboard** を使用して監視機能管理パックをインポートすることにより、OpsMgr に監視機能をインポートすることができます。監視機能の高度な微調整には、**Feature Management Dashboard** を使用します。詳細については、該当する監視機能で、Feature Management タスクを参照してください。

OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート

Dell Server Management Pack をインポートするには、OpsMgr の管理パックのインポートウィザードを使用します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
3. **管理** を展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
4. **管理パックの選択** 画面で、**追加 → ディスクから追加** とクリックします。
5. **Dell Server Management Pack Suite** をインストールした場所の詳細を入力するか、その場所まで移動します。
デフォルトのディレクトリにインストールすることを選択した場合、Dell Server Management Pack は **C:\Program Files\Dell Management Packs\6.0** にあります。
6. インポートする管理パックを選択し、**開く** をクリックします。
管理パックのインポート画面 が表示され、**インポートリスト** に管理パックが表示されます。
7. **インストール** をクリックします。

Dell Feature Management Dashboard

Dell Feature Management Dashboard は次の監視機能を提供することにより、OpsMgr での Dell システム (Dell サーバー、Dell Precision Racks、Dell Remote Access Controllers (DRAC)、Dell PowerEdge VRTX、Dell PowerEdge M1000e、および integrated DRAC (iDRAC)) の管理機能を強化します。

- [エージェントベースの監視機能](#)
- [エージェント不要の監視機能](#)
- [DRAC 監視機能](#)
- [シャーシ監視機能](#)

- [シャーシモジュラーサーバー](#) [関連機能](#)

Dell Feature Management Dashboard を使用して、監視機能をインポート、アップグレード、および削除することが可能です。

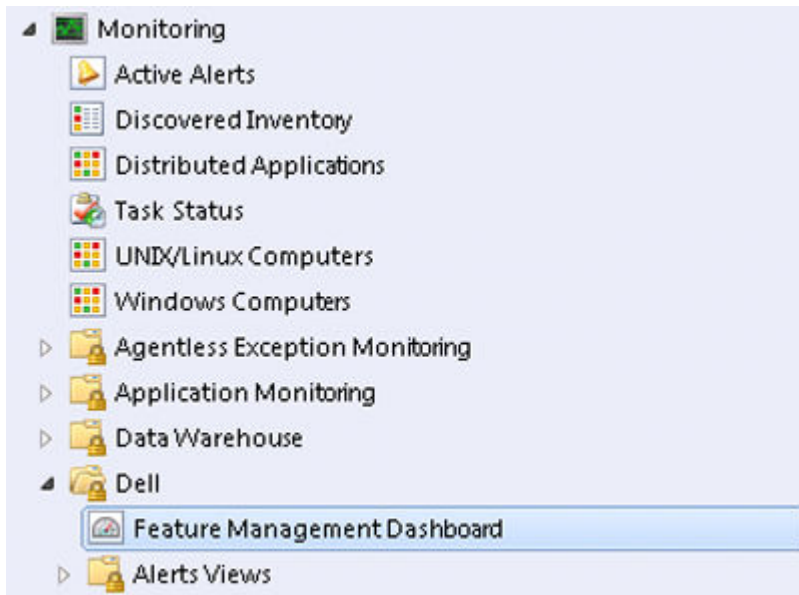
Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能のインポート

Dell Feature Management Dashboard は、使用可能な Dell Server Management Pack Suite の監視機能を表示し、特定の機能で必要とされる管理パックのインポート、アップグレード、および削除のために、それらの監視機能を自動で有効化します。

分散型セットアップ (OpsMgr 2012 内の分散型リソースプールを含む) では、Dell Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバーが、検出、アラートおよびタスクなどのすべての機能管理アクティビティをホストするために選択されます。

監視機能をインポートするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**監視** をクリックします。
3. **監視** → **Dell** → **Feature Management Dashboard** と展開します。



Feature Management Dashboard ペインには、インストールされている機能、現在使用中のバージョン、アップグレード可能なバージョン、監視レベル、ライセンスの合計数、および使用中のライセンスのリストを表示できます。

Feature Management Dashboard

Feature Management State (5)

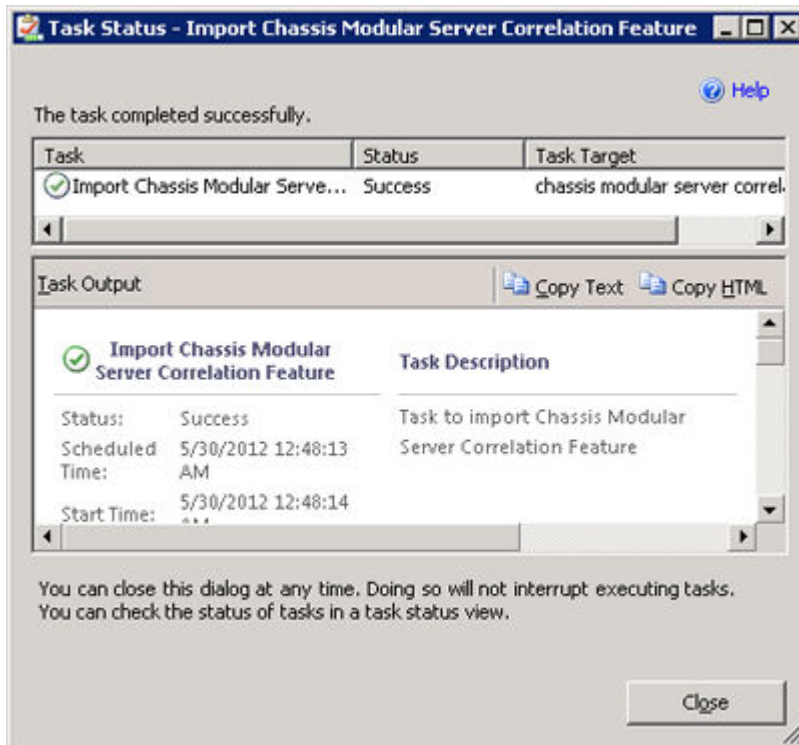
Look for: Find New Clear

Feature Name	Description	Monitoring Level	In-Use Version	Available Version	Total Node Lic...	License In Use	Current License...
Chassis Modular Server Correlation	Perform correlation between Dell Chassis an...	Not Installed	Not Installed	6.0	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
Chassis Monitoring	Monitor Dell chassis devices i.e. CMCs and D...	Not Installed	Not Installed	6.0	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
DRAC Monitoring	Monitor Dell remote access devices i.e. DRAC...	Not Installed	Not Installed	6.0	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
Server and Rack Workstation Agent-based Mo...	Monitor Dell PowerEdge and PowerVault Ser...	Scalable Feature	6.0D	6.0	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
Server and Rack Workstation Agent-free Moni...	Monitor Dell PowerEdge Servers through Ag...	Scalable Feature	6.0D	6.0	Not Available	Not Available	Not Available


4. インストールする監視機能を選択します。
5. タスク ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。

Dell Monitoring Feature Tasks 

6. 機能をインポート / アップグレードするタスクをクリックします。
7. タスクの**実行**画面では、**事前定義された RunAs アカウントの使用** オプションが選択されていることを確認します。
8. **実行** をクリックします。
9. タスクが正常に完了したら、**閉じる** をクリックします。




10. 有効にする各監視機能で、手順 4~9 を繰り返します。

 **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください。

Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能のアップグレード

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**監視** をクリックします。
3. **Dell → Feature Management Dashboard** とクリックします。
4. アップグレードする監視機能を選択します。
5. **タスク** ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。
6. 実行するアップグレードタスクをクリックします。
7. **タスクの実行** アップグレード画面で、**事前定義された RunAs アカウントの使用** オプションを選択します。
8. **実行** をクリックします。

 **注意:** データ喪失につながる上書きを行う必要がある依存性または関連付けがある場合、該当するメッセージと共にタスクが失敗します。タスクを続行するには、上書きをクリックして警告/エラーの自動解決上書きを True に設定します。詳細に関しては、「[Feature Management Dashboard タスクが失敗する](#)」を参照して下さい。

9. タスクを完了したら、**閉じる** をクリックします。
アップグレード中、Dell Server Management Pack Suite の以前のバージョンでのオーバーライド（検出、監視、規則へのカスタマイズ）は、すべて Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 に継承されます。

次の表には、Feature Management Dashboard を使用してカスタマイズできる監視機能がリストされています。

表 4. Feature Management Dashboard を使用した監視機能のカスタマイズ（拡張可能機能 vs 詳細機能）

機能	拡張性	詳細
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視	サーバー、ラック型ワークステーション、およびコンポーネントグループレベルでのインベントリおよび正常性監視	コンポーネント（メモリ、プロセッサ、センサー、ネットワークインタフェース、ストレージコントローラ、ディスク、およびボリューム）の詳細なインベントリおよび監視。BIOS 情報も表示します。
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェント不要の監視	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントまでのインベントリ。 サーバー、ラック型ワークステーション、およびコンポーネントグループレベルでのみの正常性監視。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。 電力、温度、ネットワークインタフェースカードのプロセッサ、メモリ、CUPS（1秒あたりのコンピュータの使用量）、PCIe SSD の摩耗レベルのメトリック、および IO のパフォーマンスメトリックを表示します。
シャーシ監視	<ul style="list-style-type: none"> シャーシインベントリ。 シャーシスロットサマリ。 シャーシの正常性監視。 	個々のシャーシコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。

表 5. Feature Management Dashboard を使用した監視機能のカスタマイズ (拡張可能機能のみ)

機能	拡張性
DRAC 監視	<ul style="list-style-type: none"> DRAC インベントリ DRAC 正常性監視
シャーシモジュラーサーバー関連	Dell モジュラーサーバーとシャーシを関連させます (Dell モジュラーサーバー内にあるシャーシからコンポーネントまでのインベントリと正常性を表示します)。

Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の削除

監視機能を削除するには、**Dell Feature Management Dashboard** を使用します。監視機能を削除する前に、開いているすべてのアラートを閉じるか、解決してください。監視機能の削除中、**Feature Management Dashboard** はすべての上書き参照をバックアップとしてインストールフォルダにエクスポートしますが、カスタムグループ情報および上書きインスタンスレベル情報を将来再利用することはできません。

監視機能を削除するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr を起動して、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell → Feature Management Dashboard** と移動します。
Feature Management Dashboard ペインに、OpsMgr 内に存在する監視機能のリストが表示されます。
3. 削除する監視機能を選択します。
4. **タスク** ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。
 -  **メモ:** System Center Operations Manager 2007 R2 では、**タスク** ペインが **アクション** ペインと呼ばれています。
5. **機能の削除** をクリックして、監視機能を削除します。
たとえば、サーバーとラック型ワークステーションのエージェントベースの**監視** 機能を削除するには、**タスク** ペインで、**エージェントベースの監視機能の削除** をクリックします。
6. **タスクの実行 - 機能の削除** 画面で、**事前定義された Run As アカウントを使用する** オプションを選択します。
7. **実行** をクリックします。
 -  **注意:** データ喪失につながる上書きを行う必要がある依存性または関連付けが存在する場合、該当するメッセージと共にタスクが失敗します。タスクを続行するには、**上書き** をクリックして **警告 / エラーの自動解決** 上書きを **True** に設定します。詳細に関しては、[Feature Management Dashboard タスクが失敗する](#) を参照して下さい。
8. タスクが終了したら、**閉じる** をクリックします。

エージェントベースの監視機能

エージェントベースの監視機能は、モノリシックおよびモジュラー型 Dell PowerEdge、Dell PowerVault ストレージサーバー、および対応 Windows オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator (OMSA) を実行している対応 Dell Precision Racks の検出と監視をサポートします。対応 OMSA バージョンの詳細については、『*Dell Server Management Pack Suite Version 6.0 リリースノート*』を参照してください。


エージェントベースの監視機能は、Dell Server Management Pack Suite インストーラによって自動的にインポートされます。

管理パック

Dell Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、次の管理パックが OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細については、[OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート](#) を参照してください。

次の表には、エージェントベースの監視機能のために必要な管理パックを一覧表示しています。

表 6. エージェントベースの監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェントベースの監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Server Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> Dell.Connections.HardwareLibrary.mp Dell.OperationsLibrary.Server.mp 拡張可能管理パック <ul style="list-style-type: none"> Dell.Model.Server.mp Dell.WindowsServer.Scalable.mp Dell.View.Server.mp (オプション) Dell.WindowsServer.InformationAlertsOn.mp  メモ: Dell.WindowsServer.InformationAlertsOn.mp (情報アラートを受信したい場合にのみインポート) 詳細管理パック <ul style="list-style-type: none"> Dell.WindowsServer.Detailed.mp およびすべての拡張可能管理パック

管理サーバー (MS) の要件

対応オペレーティングシステム

次に、管理サーバー用に OpsMgr がサポートするオペレーティングシステムをリストします。


- OpsMgr 2012 R2、OpsMgr 2012 SP1、および OpsMgr 2012 については、technet.microsoft.com/en-us/library/hh205990.aspx を参照してください。
- OpsMgr 2007 R2 については、[technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428(en-us).aspx) を参照してください。

ソフトウェア要件

次の表には、本スイートの機能を使用するための管理サーバーにおけるソフトウェア要件をリストしていません。

表 7. ソフトウェアの必須条件

ソフトウェア	目的
Dell OpenManage Server Administrator (Server Administrator) からの DRAC ツール	Dell サーバーとラック型ワークステーションの iDRAC と NIC のインベントリと監視。
Dell License Manager (iDRAC 7 システムのみ)	ライセンスを展開して、管理サーバーからレポートを収集します。 Dell License Manager コンソールを起動するには、管理サーバーに Dell License Manager をインストールします。詳細に関しては、 dell.com/support/manuals で『Dell License Manager ユーザーズガイド』を参照してください。
Dell OpenManage Power Center	Dell OpenManage Power Center コンソールを起動するには、管理サーバーに Dell OpenManage Power Center をインストールし、OpsMgr コンソールを使用して電力消費とデータセンターの温度を監視および管理します。詳細に関しては、 dell.com/support/manuals で『Dell OpenManage Power Center インストールガイド』を参照してください。
ベースボード管理コントローラ (BMC) 管理ユーティリティ	Dell 管理下システムでリモート電源制御タスク、または LED 識別制御タスクを実行します。

 **メモ:** DRAC ツール、Dell OpenManage Server Administrator (Server Administrator)、BMC 管理ユーティリティには『Dell Systems Management Tools and Documentation』メディアからアクセスするか、それを ell.com/support からダウンロードします。

管理サーバーアクションアカウント




管理サーバーアクションアカウントは、次の機能のため、Dell システムで次の追加権限を必要とします。

表 8. 管理サーバーアクションアカウントの権限

機能	ユーザー権限
Dell エージェントベースの監視 DRAC 検出および対応する DRAC コンソールの起動	管理者またはパワーユーザー
ESM ログのクリア	管理者またはパワーユーザー あるいは、管理サーバーアクションアカウントに標準のユーザー権限が付与されている場合、ユーザーは 事前定義された RunAs アカウントの使用 を選択する代わりに、パワーユーザー以上の権限のあるタスク資格証明を入力して、 ESM ログのクリア タスクを実行できます。

管理下システム要件

サポートされている Server Administrator のバージョン（Server Administrator Storage Management Service を含む）を管理下のノードにインストールします。

-  **メモ:** 管理下システム上の Server Administrator をアップグレードまたはアンインストールする場合は、管理下システムの **アラートビュー** に Script or Executable failed to run (スクリプトまたは実行可能ファイルの実行に失敗しました) というエラーが表示されます。管理下システムが管理サーバーではない場合は、アップグレードまたはアンインストールが完了するまで、システムをメンテナンスモードに切り替えてください。管理下システムが **管理サーバー** である場合は、アップグレードまたはアンインストール完了後に、アラートを手動で閉じることができます。
-  **メモ:** Server Administrator 7.2 DRAC ツールを使用するシステムでは、Server Administrator 7.4 DRAC ツールにアップグレードすることをお勧めします。
-  **メモ:** 管理下システムでサポートされるオペレーティングシステムについての詳細は、dell.com/support/manuals にある『Dell OpenManage Server Administrator インストールガイド』を参照してください。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるエージェントベースの監視機能タスクがリストされています。リストされているタスクの一部は、特定の監視機能をインポートした後でしか表示されません。



-  **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。
-  **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 9. 機能管理タスク

タスク	説明
エージェントベースの詳細機能のインポート	エージェントベースの監視機能の詳細機能をインポートします。
エージェントベースの拡張可能機能のインポート	エージェントベースの監視機能の拡張性に優れた機能をインポートします。
優先監視手段としてのエージェントベースの設定	このタスクは、セットアップ内で Dell サーバーとラック型ワークステーションが、エージェントベースの監視機能とエージェント不要の監視機能の両方を通じて監視される場合に、Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの優先監視手段として、エージェントベースの監視機能を有効にします。
エージェントベースの拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
エージェントベースの詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
情報アラートをオンに設定	エージェントベースの拡張可能監視の使用時に情報アラートがオンになります。
情報アラートをオフに設定	エージェントベースの拡張可能監視の使用時に情報アラートがオフになります。
ダッシュボードの更新	自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。
エージェントベースの機能の削除	エージェントベースの監視機能を削除します。

エージェントフリー監視機能

エージェントフリー監視機能は、WSMAN および SNMP を使用した Dell PowerEdge モノリシックサーバー、Dell PowerEdge モジュラーサーバー、Dell PowerVault ストレージサーバーの検出および監視をサポートします。

管理パック

Dell Server Management Pack Suite の管理パックがインポートされると、次の管理パックが OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細については、[OpsMgr への Dell サーバー管理パックのインポート](#) を参照してください。

次の表には、エージェント不要の監視機能に必要な管理パックとそのデフォルトの場所がリストされています。

表 10. エージェント不要の監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
サーバーおよびラック型ワークステーションのエージェント不要の監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Server Monitoring	ライブラリ • Dell.Connections.HardwareLibrary.mp • Dell.OperationsLibrary.Common.mp 拡張可能管理パック • Dell.Model.Server.mp • Dell.OperationsLibrary.Server.mp • Dell.Server.OOB.mp • Dell.View.Server.mp 詳細管理パック • Dell.Server.OOB.DetailedMonitoringOn.mp およびすべての拡張可能管理パック


管理サーバー (MS) の要件

表 11. ソフトウェアの必須条件

ソフトウェア	目的
OpsMgr 2012 以降 (必須)	エージェント不要の監視機能は、OpsMgr 2012 を実行している管理サーバーでのみ使用可能です。
Microsoft の WS-ManagementAndSMASHDeviceDiscoveryTemplate (必須)	管理サーバーに Microsoft の WS-ManagementAndSMASHDeviceDiscoveryTemplate をインストールして、システムのエージェント不要の検出を実行します。詳細については、 go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=244308 を参照してください。
Dell Connections License Manager (必須)	ライセンスサーバーを取り付け、設定します。詳細に関しては、 dell.com/support/manuals で『Dell Connections License Manager インストールガイド』を参照して下さい。
Dell License Manager (iDRAC 7 システムのみ)	ライセンスを展開して、管理サーバーからレポートを収集します。 Dell License Manager コンソールを起動するには、管理サーバーに Dell License Manager をインストールします。詳細に関しては、 dell.com/support/manuals で『Dell License Manager ユーザーズガイド』を参照してください。
Dell OpenManage Power Center	Power Center コンソールを起動するには、Dell OpenManage Power Center を管理サーバーにインストールします。詳細に関しては、 dell.com/support/manuals で『Dell OpenManage Power Center インストールガイド』を参照してください。


管理下システムの要件

管理下ノードを検出および監視するには、iDRAC 7 以降が必要です。


 **メモ:** ホスト NIC の検出および監視のために、管理下ノードに iSM 2.0 以降をインストールします。

Dell Connections License Manager URL の設定

Dell サーバーとラック型ワークステーションは、Dell Connections License Server が設定された後のみ検出されるため、エージェント不要の監視機能をインポートする前にこのタスクを実行してください。


 **メモ:** エージェント不要の監視機能がすでにインポートされている場合、Dell サーバーとラック型ワークステーションは次の検出サイクルでのみ検出され、Dell Connections License Manager URL の設定を促すアラートが **機能管理ダッシュボード** 内に生成されます。詳細に関しては、「[機能管理アラート](#)」を参照してください。

1. Dell Connections License Manager をインストールします。詳細に関しては、dell.com/support/manuals で『Dell Connections License Manager バージョン 1.1 インストールガイド』を参照してください。
2. 監視機能のためのライセンスを入手します。詳細に関しては、supdell.com/support/manuals で『Dell Connections License Manager バージョン 1.1 ユーザーズガイド』の「Dell Connections License Manager の管理」の項を参照してください。
3. OpsMgr 2012 コンソールを起動します。
4. ナビゲーションペインで、**監視** をクリックします。
5. **監視** → **Dell** → **Feature Management Dashboard** と展開します。
6. サーバーとラック型ワークステーションのエージェント不要の**監視** 監視機能を選択します。
7. **Dell 監視機能のタスク** ペインで、**License Server の設定** を選択します。
タスクの実行 - **License Server の設定** 画面が表示されます。
8. **上書き** をクリックします。
上書きタスクのパラメータ 画面が表示されます。
9. 新しい値 列にある **LicenseWebServiceURL** パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブサービス URL (ライセンスウェブサービス URL はデフォルトポートを 8543 として使用) を入力します。
例えば、<http://10.56.123.255:8543/> となります。
10. 新しい値 列にある **LicenseWebUIURL** パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブ UI URL (ライセンスウェブ UI URL はデフォルトポートを 8543 として使用) を入力します。
例えば、<http://10.56.123.255:8544/> となります。
11. **上書き** をクリックします。
タスクの実行 - **License Server の設定** 画面が表示されます。
12. **実行** をクリックします。
タスクステータス - **License Server の設定** 画面が表示されます。**License Server の設定** タスクは完了までに数分かかります。

 **メモ:** **Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、このタスクが完了するのを待ちます (ダッシュボードで状況アップデートの変化を確認してください)。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるエージェント不要の監視機能タスクがリストされています。リストされているタスクの一部は、エージェント不要の監視機能をインポートした後でしか表示されません。

 **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。





 **メモ:** **Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。

表 12. 機能管理タスク

タスク	説明
License Server の設定	<p>Dell Connections License Manager を設定します。詳細に関しては、「Dell Connections License Manager URL の設定」を参照してください。</p> <p> メモ: Dell サーバーおよびラック型ワークステーションは、Dell Connections License Server が設定された後にのみ検出されるため、(サーバーおよびラック型ワークステーション用の) エージェント不要の監視をインポートする前にこのタスクを実行します。</p>
Dell Connections License Manager の起動	<p>Dell Connections License Manager コンソールを起動します。詳細に関しては、dell.com/support/manuals の『Dell Connections License Manager Version 1.1 ユーザーズガイド』を参照してください。</p> <p> メモ: Dell Connections License Manager の設定中、License Manager タスクは、LicenseWebUI URL の設定完了後にのみ有効になります。詳細に関しては、「Dell Connections License Manager URL の設定」を参照してください。</p> <p> メモ: License Server の設定 および Connections License Manager の起動 は、Feature Management Dashboard 上のすべての監視機能に共通のタスクです。</p>
ダッシュボードの更新	<p>自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。</p>
エージェント不要の拡張可能機能のインポート	<p>エージェント不要の監視機能の拡張可能な機能を有効にします。</p>
エージェント不要の詳細機能のインポート	<p>エージェント不要の監視機能の詳細な機能を有効にします。</p>
エージェント不要の拡張可能機能への設定	<p>システムで詳細機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。</p> <p>以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。</p>
エージェント不要の詳細機能への設定	<p>システムで拡張可能機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。</p>

タスク	説明
	以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
優先監視手段としてのエージェント不要の設定	セットアップ内で Dell サーバーとラック型ワークステーションが、エージェントベースの監視機能とエージェント不要の監視機能の両方を通じて監視される場合に、Dell サーバーおよびラック型ワークステーションの優先監視手段として、エージェントベースの監視機能を有効にします。
エージェント不要の監視機能の削除	エージェント不要の監視機能を削除します。

DRAC 監視機能

DRAC 監視機能は、SNMP を使用したさまざまな世代（iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 システム）の検出と監視をサポートします。

管理パック

Dell Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、次にリストされている管理パックが OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細については、[OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート](#) を参照してください。

次の表には、DRAC 監視機能のために必要な管理パックを示します。

表 13. DRAC 監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
DRAC 監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Remote Access Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> Dell.Connections.HardwareLibrary.mp Dell.OperationsLibrary.Common.mp 管理パック <ul style="list-style-type: none"> Dell.DRAC.OM07.mp – OpsMgr 2007 R2 Dell.DRAC.OM12.mp – OpsMgr 2012 Dell.Model.DRAC.mp Dell.OperationsLibrary.DRAC.mp Dell.View.DRAC.mp

管理サーバー（MS）の要件

次の表に、スイートの DRAC 監視機能を使用するための管理サーバーでのソフトウェアの要件を示します。

表 14. ソフトウェア要件

ソフトウェア	目的
(オプション) Dell License Manager (iDRAC 7 システムのみ)	ライセンスを展開して、管理サーバーからレポートを収集します。 Dell License Manager コンソールを起動するには、管理サーバーに Dell License

ソフトウェア	目的
	Manager をインストールします。詳細に関しては、 dell.com/support/manuals にある『Dell License Manager ユーザーズガイド』を参照してください。
(オプション) Dell OpenManage Power Center	Power Center コンソールを起動するには、 Dell OpenManage Power Center を管理サーバーにインストールします。詳細に関しては、 dell.com/support/manuals にある『Dell OpenManage Power Center インストールガイド』を参照してください。

DRAC 監視要件

シャーシデバイスの正常性を監視するには、コミュニティ文字列 **Run As アカウント** を **Dell Remote Access Controller** クラス、またはそれぞれのシャーシオブジェクト（異なるシャーシデバイスに異なる Run As アカウントがある場合）をターゲットとして、**SNMP 監視アカウント** と関連付けます。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できる DRAC 監視タスクがリストされています。リストされているタスクの一部は、DRAC 監視機能をインポートした後でしか表示されません。



-  **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。
-  **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 15. 機能管理タスク

タスク	説明
DRAC 監視機能のインポート	DRAC 監視機能を有効にします。
DRAC 監視機能のアップグレード	DRAC 監視機能の最新バージョンにアップグレードします。
ダッシュボードの更新	自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。
DRAC 監視機能の削除	DRAC 監視機能を削除します。

シャーシ監視機能

シャーシ監視機能は、SNMP を使用した Dell PowerEdge FX2、Dell PowerEdge VRTX シャーシ、および Dell PowerEdge M1000e シャーシ上の Chassis Management Controller (CMC) の検出および監視をサポートします。

管理パック

Dell Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、次の管理パックが OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細については、[OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート](#) を参照してください。

次の表には、シャーシ監視機能のために必要な管理パックを一覧表示しています。

表 16. シャーシ監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
シャーシ監視	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Library 拡張可能管理パックおよび詳 細管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Chassis Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> • Dell.Connections.HardwareLibrary.mp • Dell.OperationsLibrary.Common.mp 拡張可能管理パック <ul style="list-style-type: none"> • Dell.CMC.OM07.mp – OpsMgr 2007 R2 • Dell.CMC.OM12.mp – OpsMgr 2012 • Dell.Model.Server.mp • Dell.OperationsLibrary.CMC.mp • Dell.View.CMC.mp 詳細管理パック <ul style="list-style-type: none"> • Dell.Chassis.Detailed.mp およびすべての拡張可能管理パック

管理サーバー (MS) の要件


ソフトウェア要件

表 17. ソフトウェア要件

ソフトウェア	目的
Dell OpenManage Server Administrator からの DRAC ツール	<ul style="list-style-type: none">CMC のシャーシの、シャーシ、シャーシスロットサマリ、およびサーバーモジュールを検出するためのものですシャーシ詳細監視

シャーシ監視要件


- シャーシデバイスの正常性を監視するには、コミュニティ文字列 **Run As アカウント** を **Dell Modular Chassis** クラス、またはそれぞれのシャーシオブジェクト（異なるシャーシデバイスに異なる Run As アカウントがある場合）をターゲットとして、**SNMP 監視アカウント** と関連付けます。
- スロット検出と相関を正常に動作させるため、CMC デバイスでは Remote Access Controller Admin (RACADM) を、Dell PowerEdge VRTX デバイスでは CMC モジュールを有効にします。詳細に関しては、dell.com/support/manuals で『iDRAC7 および CMC 向け RACADM コマンドラインリファレンスガイド』を参照してください。
- CMC のシャーシスロットおよびシャーシスロットサマリを検出するには、**Run As アカウント** を作成し、そのアカウントを **Dell CMC ログインアカウント** Run As プロファイルに関連付けます。また、OpsMgr コンソールから **CMC スロット検出** も有効にします。詳細に関しては、[サーバーモジュールをシャーシスロットサマリと相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定](#) を参照してください。
- シャーシの詳細監視を実行するには、Dell CMC へのアクセスに必要な WS-Man 資格情報で **Run As アカウント** を作成し、**Dell CMC ログインアカウント** Run As プロファイルに関連付けます。

 **メモ:** Server Administrator 7.2 DRAC ツールを使用しているシステムでは、モジュラーサーバースロット相関機能およびスロット検出機能を正常に動作させるため、Server Administrator 7.4 DRAC ツールにアップグレードすることをお勧めします。

シャーシスロットサマリを使用した相関サーバーモジュール用 Dell Chassis Management Controller 機能の設定


サーバー モジュールを相関させるために CMC 機能を設定するには、**Run As アカウント** を作成してそれを Run As プロファイルに関連付け、シャーシスロットサマリの自動入力を行います。

- シャーシの CMC モジュールに接続する権限のある、簡易認証タイプの **Run As アカウント** を作成します。また、ユーザー資格情報を設定するには、**ベーシック** または **ダイジェスト** の Run As アカウントタイプを使用します。
- 特定の管理サーバーに対して選択的に設定を適用できるようにするため、**Run As アカウント** 設定で、**高セキュリティ** または **低セキュリティ** オプションを選択します。
簡易認証タイプの **Run As アカウント** の作成方法については、dell.com/support/manuals で『Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 ユーザーズガイド』の「簡易認証 Run As アカウントの作成」を参照してください。

 **メモ:** サーバー管理アクションアカウントを OpsMgr 管理者グループに追加します。


- 作成した Ran As アカウントを **Dell CMC ログインアカウント** のプロファイルに関連付け、プロファイル上で設定できる適切なクラス、グループ、またはオブジェクトを選択します。

- CMC のスロットサマリ検出を有効にするには、**Dell CMC スロット検出** で有効化プロパティを **True** に書き込みます。これは、デフォルトで無効になっています。

 **メモ:** スロット検出後、**RunAs アカウント** と **RunAs プロファイル** 間のリンクを削除、またはスロット検出ワークフローを無効化すると、検出されたスロットには古いデータが残ります。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるシャーシ監視タスクがリストされています。リストされているタスクの一部は、シャーシ監視機能をインポートした後でしか表示されません。

 **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。


 **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 18. 機能管理タスク

タスク	説明
シャーシ監視拡張可能機能のインポート	シャーシ監視拡張可能機能をインポートします。
シャーシ監視詳細機能のインポート	シャーシ監視詳細機能をインポートします。
シャーシ拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
シャーシ詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、 Feature Management Dashboard は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。
シャーシ監視機能の削除	シャーシ監視機能（拡張可能監視機能および詳細監視機能の両方）を削除します。
ダッシュボードの更新	自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。

シャーシモジュラーサーバー関連機能

シャーシモジュラーサーバー関連機能は次をサポートします。

- Dell モジュラーサーバーとシャーシスロットの関連。
 - **メモ:** 関連機能を動作させるには、CMC スロット検出を有効にします。
- シャーシ共有ストレージコンポーネントと Dell サーバーの関連。
 - **メモ:** シャーシ共有コンポーネントと Dell サーバーとの関連にシャーシ詳細監視を有効にします。

管理パック

Dell Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、次の管理パックが OpsMgr コンソールの **管理** ペインに表示されます。詳細については、[OpsMgr への Dell Server Management Pack のインポート](#) を参照してください。

次の表には、シャーシモジュラーサーバー関連監視機能のために必要な管理パックを一覧表示しています。

表 19. シャーシモジュラーサーバー関連監視機能と必要な管理パック

機能	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
シャーシモジュラーサーバー 関連	ライブラリ C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\6.0\Library 管理パック C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite \6.0\ChassisModular ServerCorrelation	ライブラリ • Dell.Connections.HardwareLibrary. mp • Dell.OperationsLibrary.Common.m p 管理パック • Dell.ChassisModularServer.Correlati on.mp

管理サーバー (MS) の要件

シャーシモジュラーサーバー関連監視要件

分散型 OpsMgr 環境におけるシャーシブレード関連

分散型 OpsMgr 2007 R2 環境では、CMC の検出および監視を行う管理サーバーのサーバープロキシを有効にします。

プロキシエージェントを有効化するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**管理** → **デバイス管理** → **管理サーバー** と展開します。
3. シャーシデバイスを検出した管理サーバーを選択します。
4. 右クリックして、**プロパティ** を選択します。
5. **管理サーバープロパティ** ダイアログボックスで、**セキュリティ** タブをクリックします。
6. このサーバーをプロキシとして動作させて、他のコンピューター上の**管理下オブジェクトを検出する** オプションを選択します。
7. **OK** をクリックします。

機能管理タスク

次の表には、**Feature Management Dashboard** で使用できるシャーシモジュラーサーバー関連機能タスクがリストされています。リストされているタスクの一部は、シャーシモジュラーサーバー関連監視機能をインポートした後でしか表示されません。



-  **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に **Feature Management Dashboard** がインポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。
-  **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 20. 機能管理タスク

タスク	説明
シャーシモジュラーサーバー関連機能のインポート	シャーシモジュラーサーバー関連機能を有効にします。
シャーシモジュラーサーバー関連機能のアップグレード	シャーシモジュラーサーバー関連機能の最新バージョンにアップグレードします。
シャーシモジュラーサーバー関連機能の削除	シャーシモジュラーサーバー関連機能を削除します。
ダッシュボードの更新	自動的にアップデートされなかった場合に Feature Management Dashboard をアップデートします。

トラブルシューティング

本章では、インストール関連のエラーのトラブルシューティングについての情報を説明します。

Feature Management Dashboard が自動入力されない


分散型セットアップ (OpsMgr 2012 内の分散型リソースプールを含む) では、Dell Server Management Pack Suite がインストールされている管理サーバーを最初に選択し、検出、アラートおよびタスクなどのすべての機能管理アクティビティをホストします。Dell Server Management Pack Suite がインストールされている管理サーバーが最初に Feature Management Dashboard にデータを表示します。ただし、管理サーバー上でインストーラを実行せずに、Feature Monitoring Management Pack を手動でインポートした場合は、Feature Management Pack ホストが選択されないため、**Feature Management Dashboard** にデータが表示されません。

Feature Management Dashboard にデータを表示させるには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** で、**Management Pack オブジェクト** を展開します。
3. **オブジェクトの検出** をクリックします。
4. **検索対象** : フィールドで、**Dell Feature Management ホスト検出** を検索します。
5. **Dell Feature Management ホスト検出** を右クリックして、**上書き** → **オブジェクト検出の上書き** → **クラスのすべてのオブジェクト : Dell Feature Management ホスト検出** の順に選択します。
6. **FmpHostFqdn** を選択し、Feature Management のアクティビティを実行する必要がある管理サーバーの FQDN に上書きの値を設定します。

Feature Management Dashboard タスクが失敗する

Feature Management Dashboard でのアップグレードタスクの実行は、データ喪失の原因になる場合があります。たとえば、変更されている監視機能に依存性または関連性が存在すると、アップグレードタスクが失敗し、それに応じたメッセージが表示されます。

 **注意:** タスクパラメータを上書きすると、管理パックまたはオペレーショナルデータが失われます。

1. OpsMgr コンソール を立ち上げて、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** → **Feature Management Dashboard** と移動します。
Feature Management Dashboard ペインに、OpsMgr 内の管理パックとアップグレード可能な管理パックのバージョンのリストが表示されます。
3. 監視機能を選択します。
4. **タスク** で、**Dell 監視機能タスク** を展開します。
5. 監視のアップグレードタスクをクリックします。

たとえば、**シャーシ監視** 機能をアップグレードするには、**Dell 監視機能タスク** で **シャーシ監視機能のアップグレード** をクリックします。

6. **タスクの実行 – 監視機能のアップグレード** 画面で、**上書き** をクリックします。
上書きタスクのパラメータ 画面が表示されます。
7. 新しい値 行のドロップダウンメニューで、**警告 / エラーの自動解決** を **True** に変更します。
8. **上書き** をクリックします。
9. **実行** をクリックしてタスクを実行します。

機能管理アラート

ダッシュボードの Feature Management アラートで生成されるアラートは次のとおりです。

表 21. 機能管理アラート

アラートテキスト	アラート状態	原因	解決策
Dell FMP: Dell Device Helper Utility が存在しない、または Dell エージェント不要の監視 Management Pack との互換性がありません。	重要	Dell Device Helper Utility バージョン 6.0 が見つからなかったか、Dell Device Helper Utility が破損しています。 6.0 より新しいバージョンの Dell Device Helper Utility が見つかりました。 6.0 より古いバージョンの Dell Device Helper Utility が見つかりました。	管理サーバー上で Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 インストーラを実行してください。
Dell FMP : Dell License Server が適切に設定されていません。	重要	Dell Connections License Server が設定されていません。	Dell Connections License Server をインストールして URL を設定してください。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。
Dell FMP : Dell License Server が到達不能です。	重要	Dell Connections License Server に接続できません。	Dell Connections License Server URL が正しく設定されていることを確認してください。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。 Dell Connections License Server にアクセス可能かどうかを確認してください。

アラートテキスト	アラート状態	原因	解決策
Dell FMP: 機能に対する Dell ライセンスが十分でないか使用できません。	重要	Dell Connections License Server 上にライセンスがありません。 監視機能に対するライセンスの使用が監視制限を超えています。	追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。
	警告	監視機能に対するライセンスの使用が、総監視能力の上限に近づいています。	追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。
	重要	監視機能のためのライセンスを処理できません。	Dell Connections License Server が正しく設定されていることを確認してください。詳細に関しては、 dell.com \support\manuals の『Dell Connections License Manager バージョン 1.1 ユーザーズガイド』を参照してください。 Dell Connections License Server にアクセス可能かどうかを確認してください。 Dell Connections License Server からライセンスを取得するためのアクセス権限を確認してください。

Feature Management ホストサーバーの正常性サービスを取得できない

分散型セットアップでは、Dell Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバーが、検出、アラートおよびタスクなどのすべての Feature Management アクティビティをホストするために最初に選択されます。選択された管理サーバーの機能が停止すると、実行された Feature Management タスクが失敗し、**Feature Management Dashboard** にデータは投入されません。そのような選択されたサーバーが破損している、またはサーバーの正常性サービスが取得できない場合は、管理サーバーを廃棄して古いオブジェクトを削除します。詳細については、technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx を参照してください。

Feature Management Dashboard にデータを表示させるには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** で、**Management Pack オブジェクト** を展開します。
3. **オブジェクトの検出** をクリックします。

4. **検索対象**：フィールドで、**Dell Feature Management ホスト検出** を検索します。
5. **Dell Feature Management ホスト検出** を右クリックして、**上書き → オブジェクト検出の上書き → クラスのすべてのオブジェクト : Dell Feature Management ホスト検出** の順に選択します。
6. **FmpHostFqdn** を選択し、Feature Management のアクティビティを実行する必要がある管理サーバーの FQDN に上書きの値を設定します。

Dell Device Helper Utility 用ユーザー資格情報の手動設定

Dell Device Helper Utility は、Dell Connections License Manager からのライセンスの取得のためにユーザー資格情報を必要とします。インストーラが Dell Device Helper Utility 用ユーザー資格情報の設定に失敗する場合は、ユーザー資格情報を手動で設定します。

Dell Device Helper Utility のユーザー資格情報を設定するには、次の手順を実行します。

1. **スタート → ファイル名を指定して実行** をクリックします。
2. **DcomCnfg** と入力して **DCOM 設定** ウィンドウを開きます。
3. **コンポーネントサービス → コンピュータ → マイコンピュータ → COM+ アプリケーション → Dell Device Helper** と展開します。
4. **Dell Device Helper** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
5. **Dell Device Helper プロパティ** ウィンドウで、**ID** タブをクリックします。
6. **このユーザー**: オプションを選択して、ユーザー資格情報を入力します。
7. **OK** をクリックします。

メモ:

- このユーザーを Dell Connections License Manager グループに追加します。詳細に関しては、[Connections License Manager ドメイングループの作成](#)を参照してください。
- ユーザーは、Device Helper Utility がインストールされている管理サーバー上のローカル管理者である必要があります。


Dell Connections License 統計が Feature Management Dashboard でアップデートされない

Dell Connections License 統計のアップデートに関連するワークフローは、Management Server Action Account (MSAA) の一環として実行されます。MSAA を **Dell Connections ライセンスユーザー** グループに追加してください。

付録

WS-Management と SMASH デバイステンプレートのインストール

WS-Management と SMASH デバイステンプレートをインストールするには、次の手順を実行します。

1. go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=244308 から、SMASH ライブラリ MPB ファイル **WS-ManagementAndSMASHDeviceDiscoveryTemplate.msi** を一時的な場所にダウンロードします。
 2. .msi を実行して、ユーザー/デフォルト場所に SMASH Library MPB ファイルをコピーします。
 3. OpsMgr 2012 コンソールを起動します。
 4. ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
 5. **管理** を展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
 6. **追加** → **ディスクから追加** をクリックします。
 7. マイクロソフトの SMASH ライブラリ MPB ファイルをダウンロードした場所の詳細を入力するか、その場所に移動します。
 8. MPB ファイルを選択して **開く** をクリックします。
管理パックのインポート画面 が表示され、**リストのインポート** にテンプレートが表示されます。
 9. **インストール** をクリックします。
-  **メモ:** エージェント不要の監視機能を使用して Dell システムを検出するには、Dell Connections License Server の URL を設定してセットアップする必要があります。詳細については、「[Dell Connections License Manager URL の設定](#)」を参照してください。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

デルサポートサイトから文書にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. dell.com/support/manuals にアクセスします。
2. サービスタグまたはエクスプレスサービスコードをお持ちですか? セクションの **いいえ** ですべてのデル製品のリストから **選択する** を選択し、**続行** をクリックします。
3. **お使いの製品タイプ** を選択してください セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
4. **お使いのデル製システム** を選択してください - **Software** セクションで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **クライアントシステム管理**
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
5. マニュアルを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。



メモ: または、次のリンクを使用してマニュアルに直接アクセスすることもできます。

- エンタープライズシステム管理マニュアル – dell.com/openmanagemanuals
- リモートエンタープライズシステム管理マニュアル – dell.com/esmmanuals
- Serviceability Tools マニュアル – dell.com/serviceabilitytools
- クライアントシステム管理マニュアル – dell.com/OMConnectionsClient
- OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル – dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
- OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル – dell.com/OMConnectionsClient